

バイタルリンク運用好事例紹介（その2）

●連絡帳（タグ付け機能）

バイタルリンクにおいて、現在情報共有のメインとして使用している連絡帳ですが、登録するメッセージを分類分けする機能「タグ付け機能」があります。メッセージを登録する際、また登録した後に追加することも可能です。タグを付けることにより、『まとめ』画面で時系列に並べて内容を確認することができます。



新規メッセージ登録の際は、ウインドウの下部にある10種類のタグの中から該当するタグを選んでチェックを入れて下さい。

タグをつけると登録されたメッセージに表示され、『まとめ表示』にて、時系列表示されます。



件名：ACPに資する情報 20210115
 ○○○先生 訪問診療時
 S) 5年は生きられないのだから、年をひとつとっただけ。



まとめ表示 ～ACPタグによるお気持ちの共有～

患者氏名
 昭和32年(1957年)08月09日 (63歳) 分類・注釈

患者情報 連絡帳 バイタル おくすり カレンダー

メッセージ

医師
 20200707定期訪問診療 ○○医師
 S)歯がなくて食べられないんだから仕方無い！もう死ぬだけだからいいんだよ～！（食事に関するMIPとのやり取りの中での発言）
 MIPが途中から同席。
「作ったものを食べてくれない」と。
 →「アス10」をMIPさんに共有。写メを撮っていかれた。今より10gがバカリとりましょう。と話す。S)のように発言。

カルテ記載を事務が代理入力することも可

事務職
 ○○医師 定期診療で前回の腹痛エピソードを聞き取る中で、仮に痛みが今後繰り返したら胃炎や胃潰瘍の可能性を考えて、胃カメラなどの検査を行うという方針があり得ることを伝えると「薬も検査も嫌だ」と明言。
 「検査とか薬になるんだったら、具合が悪くなくても、もう言わない」といじわるそうに笑いながら言う。
 本人の同意なしに検査や薬を追加したりはしないから心配しないで、きちんと症状は教えてください。と伝えると、「うん」と。

医師
 9月26日 △△先生診療時
禁煙や禁酒以外で、10年生きるためにしたほうがいいことを知りたい。

医師
 8月29日 診察時話訂
「酒・タバコはやめるつもりが無い」「長生きするつもりはない」「68歳まで生きられればいい」
 「眠ったまま死ぬのがいい。それが爺さんの死に方だった」
 →その前に癌が見つかるなどした場合は、病院で治療したりなどするのか、それを寿命と思うのか？
 「それはもうそれまでだと思うしかないじゃん」
 →転倒して頭をぶつけて出血したりすればそれで死ぬこともあると思うけれど、それが68歳より手前でも良い？
 「そんな形で怪我することはないよ」

事務職
 2019年8月16日
 S)あと5年は生きられないのだから、年をひとつとっただけ。

主たる病名：脳性麻痺
 生活保護受給
 日常生活自立度：A1
 認知症高齢者の日常生活自立度：I

通常、カルテ記載内容をそのまま『連絡帳』に登録することは推奨していませんが、ACPに関する情報については、例外としてお願いしております。
 例えば、登録のご負担を軽減する方法として、カルテ記載の中から、医師が指定したものを事務や看護師が代理入力することも可能です。

時系列に並びます

主たる病名：脳腫瘍
日常生活自立度：C2
認知症高齢者の日常生活自立度：IV



患者氏名

昭和27年(1952年)09月11日 (68歳) 分類・注釈:

患者情報

連絡帳

バイタル

おくすり

カレンダー

まとめ

ACP

メモ

編集

基礎情報として共有すべきことやキーパーソンを登録しておくと便利です

主たる介護者は夫であるが、意思決定において長女や次女の治療に対する希望や解釈を考慮する必要がある。
〇〇大学病院脳神経外科 〇〇〇〇先生が外来主治医 (外来： 曜日午前/ 曜日午後のみ)。
〇〇〇訪問看護ステーションを利用していたが、状態の悪化に伴い、看護小規模多機能の登録に切り替え、宿泊も利用し始めた (切り替え前のケアマネージャーと家族の関係性が悪かった、という側面もあり、その意味でも切り替えのメリットがあった)。

メッセージ

追加



事務職

カルテ記載を事務が代理人入力することも可

2020.1.28 〇〇先生訪問診療時
(夫) 昼夜逆転というよりは、ほとんど起きていない時間が無くなってきました。最期をむかえる場について娘と相談していますが、このままだと私が看切れないかもしれません。

夫が「看切れないのではないかと考えたのは、今後に起こり得ることが分からないことによる不安。1/2 2のMIRでは、経過中初めて「腫瘍が広がった」と説明を受けたとのこと。

最も考えられる経過は、覚醒がさらに落ち、呼吸のリズムもバラバラとなり、ある時呼吸が止まる、ということがあることを説明。また、けいれんは病巣が深部であるから、ほとんど起きないだろうことを説明しつつ、念のため(安心のため)にダイアップ坐を処方しておくことを説明。夫より、看護小規模多機能であればスタッフも同じでした他のところへお願いするより、自分も本人も安心とのこと。

ACP



看護師

今後の事を本人に聞くと、家に居たい、というが、ご主人としては、いつそれが起こるか、という事を思いながら見守るのに耐えられるのか心配、と。おそらく、眠っている時間が長くなって、衰弱していく事が予想され流、と話、今後の居場所は家と 看多機 を行き来しながらがベストではないかと医師からは話しました。娘さん達にもご主人から話していただくようお願いしています。

ACP



医師

〇〇先生 訪問診療時
ご本人をリビングに残し、夫が玄関までお見送りにいらした際にその旨お伝えすると、「今後のことを先生方と相談する機会を持ちたい」と夫よりご提案あり。その際は娘様の同席を希望されると。

ACP



事務職

2019年10月1日
【状況】看護小規模多機能の泊り利用をどの程度にするかという文脈の中での発言
「できるだけ家に居たい」

ACP



医師

【経過】9月4日までの状態は徐々に低下しつつも急な変化はなく、夫の軽介助でトイレへ行くことができていた。同日〇〇大学病院でアバスチンを初回投与。9月5日から食思不振が強まり、9月6日に発熱で臨時往診。その後、7日、8日と臨時往診し、8日より抗生剤投与を開始するも、臨床症状に改善がなく、ぐったりとしている。

【逐語録】

<本人> 何が何でも家にいたいと思っている訳ではありません。病院に入院する必要があるれば・・・。家族に迷惑をかけるので。

<夫>

今みたいな話と類することを普段も言うことがあります。でも本心ではないと思うんですね。先週前半くらいの状態(軽介助でトイレに行かれる程度)であれば、また看ることが出来ます。

ACP



医師

診療終了時に玄関で
「大変だろうから、病院に入院してもいいのよ」と本人が今日言った、という夫からの情報があった

ACP

ご家族からの意見や、お気持ちなども記載するとより深い情報となります

医師が意図的に聞きとったお気持ちの他にも、ケアマネジャーさんや訪問看護師さん、薬剤師さんの訪問時の対話の中にある本人やご家族のご意思など、「何を大切に生きてきたか」、「これからの人生をどこでどのように過ごしたいか」、価値観や人生観を多職種で理解するための情報として、エピソードを登録して頂き、積み重ねることが大切です。